

SHISEIDOGALLERY

第14回 shiseido art egg 橋本 晶子展

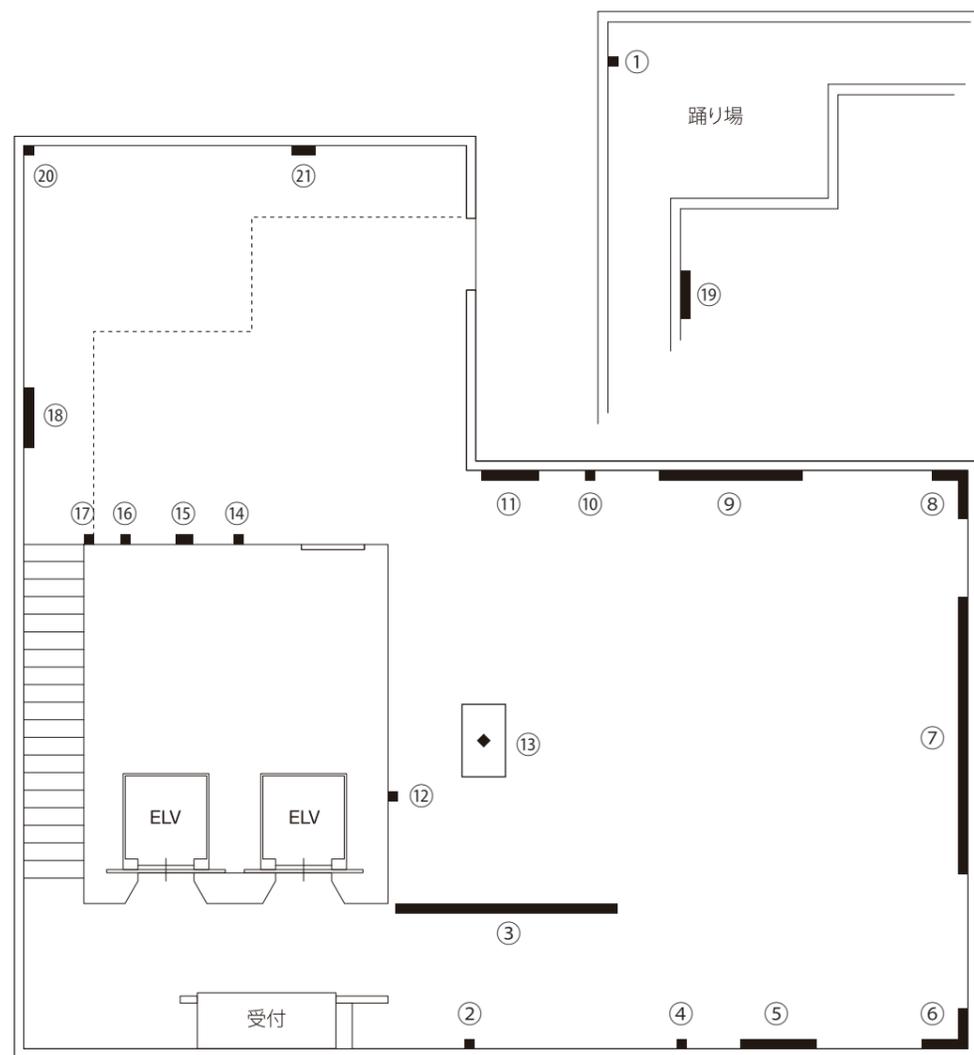
会期：2020年10月30日（金）～11月22日（日）

平日：11:00-19:00 日・祝：11:00-18:00

毎週月曜休（月曜日が祝日にあたる場合も休廊）

事前予約制

主催：株式会社 資生堂



《 Ask him 》2020 ミクストメディア

描画部分素材

- ①～⑥ 鉛筆、アルシュ紙
- ⑦, ⑳ 鉛筆、トレーシングペーパー
- ⑧～㉑ 鉛筆、アルシュ紙

「shiseido art egg」は、「新しい美の発見と創造」という考えのもと、オープン以来100年以上にわたり活動を続けてきた資生堂ギャラリーの門戸を新進アーティストに開く公募制のプログラムです。14回目となる今回は、全国各地よりいただいた215件の応募から西 太志（にし たいし）、橋本 晶子（はしもと あきこ）、藤田 クレア（ふじたくれあ）の3名の個展を10月～12月にかけて開催します。

第2期に展示をする橋本晶子は、ギャラリーの空間を、静かで詩的な空間に変容させ、現在の場所とは異なる、どこか別の場所へと鑑賞者を誘います。

道、飛ぶ鳥、風景などの、繊細に描かれたモノクロの鉛筆画は、「ここ」から「どこか、むこう側の空間」に向かう事を示唆しています。また、窓のないギャラリーに設えられたカーテンは、「ここ」と「むこう側」を行き来するための境なのかもしれません。

ギャラリーの広い空間や白い壁は、作品の余白として構成され、照明による光影は、壁面と呼応し、ギャラリー空間全体をモノトーンで洗練された印象に仕上げています。

絵画の役割や、絵を見るという行為への考察に始まり、「現在の時間と遠くとが、ささやかに重なり合う風景を作りたい」と言う、今回の橋本の試みを、ぜひ体験してください。

橋本 晶子

1988年 東京都生まれ

2015年 武蔵野美術大学大学院 造形研究科修士課程 日本画コース修了

東京都在住

主な展覧会

2018 「Yesterday's story」Cité internationale des arts (パリ) 個展

2018 「It' soon.」Little Barrel (東京) 個展

ここにいながら遠くを見るための、絵のある風景をつくっている。

壁に絵があるとき、ここと、ここから届かない遠くとがささやかに触れ合う。それがふと目に映り、また映るたび、見る人はふたつの間を何度でも行きかう。それは遠くを見ながら、同時に自分の足元・ここにいることに気づく時でもある。

どうぞゆっくり。